

見たことがないトンボがいたよ

トンボ天国親子探検隊

トンボ天国親子探検隊(トンボ池を守る会主催)が7月12日、笠松トンボ天国で開催されました。

トンボ天国は県下一のビオトープで、約30種類のトンボをはじめ多くの動植物が生息する自然の宝庫です。

当日は虫かごや昆虫網を持った60人の親子が、講師で昆虫の専門家 柴田佳章さんからトンボ天国に生息する動植物の説明を受けながら、貴重な自然の残るトンボ天国を探検しました。

参加した子どもたちは、チョウチョのような羽をもつチョウトンボや糸のように細いイトトンボなどを発見するたびに目を輝かせ、小さな自然を発見する喜びを感じるひとときとなりました。



池の付近は植物やトンボ、ヤゴがたくさん

カメラの眼

まちの出来事



川・馬・人が主役のイベントを楽しむ皆さん

川湊のにぎわい 再び

湊町浪漫

湊町浪漫(NPO法人元気そがわ主催)が7月18日、笠松みなと公園で開催されました。

当日は、NPO法人郡上ミステーフファミリー(郡上市)とNPO法人ぎふ羽島ボランティア協会(羽島市)も参加し、引き馬体験やアコースティックライブ、物販などが催され来場者を楽しませました。青い木曽川、緑の芝生、茶色い馬、個性的な人々が一体となった会場は、古くは木曽川の水運に恵まれ川湊として栄えた笠松町の再来を思わせるようでした。

木曽川をフィールドに、川を活かしたまちづくりを目的に流域のネットワークを深めながら活力ある地域づくりを進めるNPO法人元気そがわの活動は今後も続きます。

老人クラブ長生会の一斉掃除

回収ゴミ25袋

7月19日、下・中門間地区の老人クラブ長生会1・2・3の皆さんが町内に捨てられた空き缶などのゴミを拾いました。

この清掃活動は、15年ほど前から始められ、6月と9月の年2回開催しています。

今回は、約100人の会員が火ばさみとゴミ袋を持って参加され、地区内の道路をグループ毎に分かれて歩きながら、道路わきに捨てられた紙ゴミや空き缶・ペットボトル・ガラスビンなどを分別回収しました。拾い集められたゴミは25袋にもなり、道路はすっかりきれいになりました。



道路わきに捨てられたゴミの回収を行う下・中門間地区の老人クラブの皆さん

ゴミを回収した会員の方々は「自分が健康であるので、地域のことで少しでも奉仕できればいい」「みんなが集まって清掃活動することや会員同士が話すことが楽しい」と汗をぬぐいながら話されました。